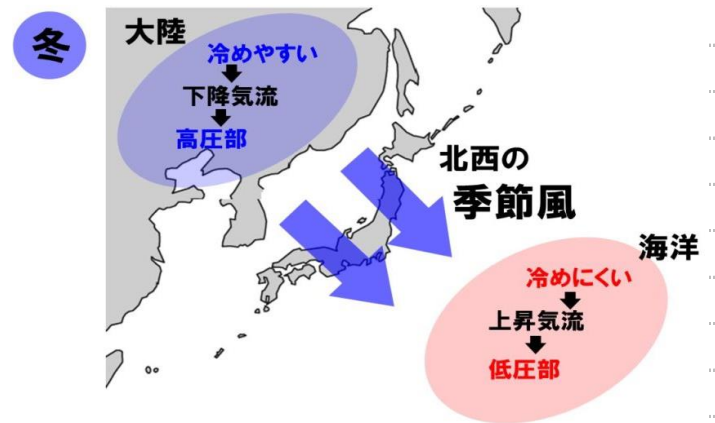
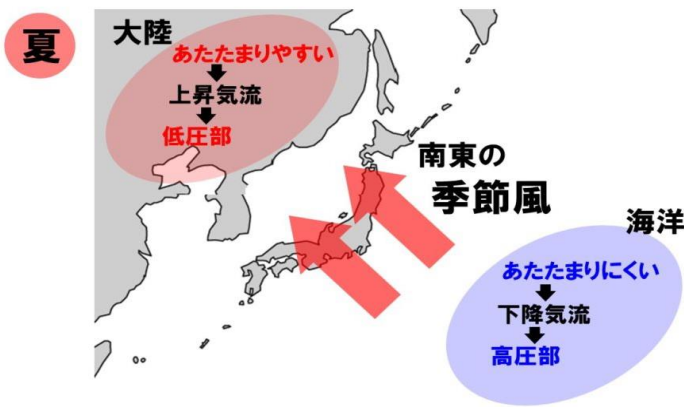
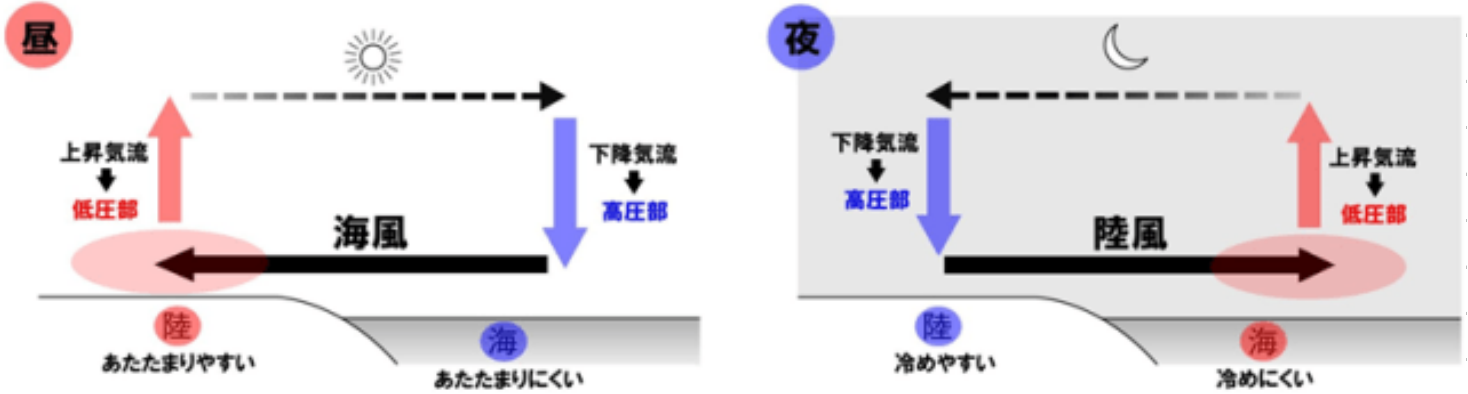


大気の動きと日本の四季

陸と海の間の大気の動き



陸と海の間の大気の動き



- 冬 シベリア気団が発達し、西高東低の気圧配置
気温が下がり、日本海側で雪が多い
- 春 偏西風により移動性高気圧と温帯低気圧が交互に来る
4～7日で天気が変わる
- 梅雨 オホーツク気団と小笠原気団がぶつかる
低気圧が長く伸びた気圧の谷ができ、停滞前線（梅雨前線）ができる
- 夏 小笠原気団が発達し、南高北低の気圧配置
気温が上がり、蒸し暑くなる

熱帯低気圧

赤道付近にできる、前線をともしない等圧線が同心円状の低気圧
そのなかで最大風速が17.2m/sを超えるものが台風